

# パンデミック と文明

感染症と向き合う  
過去から未来へ

岡山大学  
文明動態学研究所  
キックオフ・シンポジウム

2021年

4月14日(水) 14:00～

岡山大学 創立五十周年記念館(金光ホール)

+ オンライン 参加費無料 \*定員100名(先着順)  
\*オンラインの定員はありません。

## Speakers

山本太郎(長崎大学 熱帯医学研究所)  
今津勝紀(岡山大学 文明動態学研究所)  
松岡弘之(岡山大学 社会文化科学研究科)  
松本直子(岡山大学 文明動態学研究所)  
司会=中谷文美(岡山大学 文明動態学研究所)

主催:岡山大学 文明動態学研究所

[ridc.okayama-u.ac.jp](http://ridc.okayama-u.ac.jp)

共催:新学術領域研究「出ユーラシアの統合的人類史学」

[out-of-eurasia.jp](http://out-of-eurasia.jp)



# パンデミックと文明

— 感染症と向き合う過去から未来へ —

2021年4月14日(水) 14:00~17:00

岡山大学 創立五十周年記念館(金光ホール)  
+ オンライン 参加費無料

\*定員100名(先着順)  
\*オンラインの定員はありません。

主催:岡山大学 文明動態学研究所 共催:新学術領域研究「出ユーラシアの統合的人類史学」

## Timetable

- 13:30~14:00 — 開場・受付  
14:00~14:30 — 開会  
学長挨拶、研究所長挨拶・研究所紹介  
14:30~15:30 — 基調講演  
「With コロナ時代の羅針儀」  
山本太郎(長崎大学 熱帯医学研究所)  
15:30~15:40 — 休憩  
15:40~16:00 — 報告\_1  
「日本古代の疫病と地域社会」  
今津勝紀(岡山大学 文明動態学研究所)  
16:00~16:20 — 報告\_2  
「ハンセン病者と近代日本」  
松岡弘之(岡山大学 社会文化科学研究科)  
16:20~17:00 — パネルディスカッション  
山本太郎 × 今津勝紀 × 松岡弘之 × 松本直子  
司会=中谷文美

## Place

岡山大学 創立五十周年記念館(金光ホール)

詳しくは右記または下記URLからご確認ください。

URL: [www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/50kinenkan02](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/50kinenkan02)

\*利用者用駐車場がございませんので、公共交通機関を利用してお越しください。大学構内に無断で駐車されますと、パーキングロックされます。



## Application

「お申し込み」 締め切り:4月12日(月)

右記または下記URLからお申し込みください。

URL: [forms.gle/hoWv1kmUCim8YGok6](https://forms.gle/hoWv1kmUCim8YGok6)



岡山大学 文明動態学研究所(RIDC)

〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中3-1-1

TEL: 086-251-7442

E-mail: [ridc@okayama-u.ac.jp](mailto:ridc@okayama-u.ac.jp)

URL: [ridc.okayama-u.ac.jp](http://ridc.okayama-u.ac.jp)

## Speakers



長崎大学  
熱帯医学研究所  
国際保健学分野 教授

山本太郎

YAMAMOTO Taro

1990年長崎大学医学部卒業。1995年長崎大学大学院博士課程病理学系専攻修了(博士医学)。1998年東京大学大学院医学系研究科博士課程国際保健学専攻修了(博士国際保健学)。長崎大学熱帯医学研究所助手・助教、京都大学大学院医学研究科助教授、外務省国際協力局課長補佐等を務め、2007年より現職。その間に1999-2000年 JICAジンバブエ国感染症対策プロジェクト・チーフアドバイザー、2002-2003年 ハーバード大学公衆衛生大学院特別研究員(武見フェロー)、2003-2004年 コーネル大学公衆衛生大学院・客員助教授、ハイチのカボジ肉腫・日和見感染症研究所・上級研究員。また2010年のハイチ大地震、2011年の東日本大震災では、震災直後から被災地に入り救援支援活動を行う。著書に『疫病と人類』(朝日新書)2020、『抗生物質と人間——マイクロバイオームの危機』(岩波新書)2017、『失われていく、我々の内なる細菌』マーティン・J・ブレイザー著 山本太郎訳(みすず書房)2015、『感染症と文明——共生への道』(岩波書店)2011、他多数



岡山大学  
文明動態学研究所  
教授

今津勝紀

IMAZU Katsunori

京都大学大学院文学研究科単位取得退学。博士(文学)。鳥取女子短期大学などをへて1998年4月岡山大学文学部助教授、2021年4月から現職。専門は日本古代史。主著に、『日本古代の税制と社会』塙書房、2012年、『戸籍が語る古代の家族』吉川弘文館、2019年。



岡山大学大学院  
社会文化科学研究科  
講師

松岡弘之

MATSUOKA Hiroyuki

大阪市立大学大学院文学研究科単位取得退学。博士(文学)。大阪市史料調査会などをへて、2020年4月から現職。専門は日本近現代史。著書に『ハンセン病療養所と自治の歴史』みすず書房、2020年。



岡山大学  
文明動態学研究所  
所長

松本直子

MATSUMOTO Naoko

九州大学大学院博士課程修了。博士(文学)。日本学術会議連携会員。専門は認知考古学、ジェンダー考古学。新学術領域研究「出ユーラシア」領域代表\*。主著に『認知考古学とは何か』(共編著2003)、『縄文のムラと社会』(2005)など。

\*out-of-eurasia.jp



岡山大学  
文明動態学研究所  
教授

中谷文美

NAKATANI Ayami

オックスフォード大学大学院博士課程修了(D.Phil.)。日本学術会議連携会員。専門は文化人類学、ジェンダー論。主著に『オランダ流ワーク・ライフ・バランス』(2015)、『「女の仕事」のエスノグラフィ』(2003)、編著に『仕事の人類学』(2016)、Fashionable Traditions (2020)など。